

東京製品販売所きょう開所

前田道路西関東支店の東京製品販売所が5日に開所する。これに先立ち、4日には竣工式を川崎市内の現地で開いた。約25人が参加し、発進セレモニーでは、峯崎賢司執行役員製品事業本部長、内田哲郎執行役員

設計監理〓千都
施工〓前田ら 機械装置〓日工

前田道路西関東支店



新しくなったアスファルトプラント

西関東支店長、亀井博文東京製品販売所長がプラントの始動スイッチを押し、販売所の新たな門出を祝った。同施設は、RC造2階建て170平方メートルの事務所とS造のプラントで構成する。設計監理は千都建築設計事務所、施工は前田建設工業、エフ



発進式でスイッチを押す（左から）
内田支店長、峯崎本部長、亀井所長

ビーエス、機械装置は日工が担当した。アスファルト合材保管容量50トのサイロを6基備える。建設地は、高津区久地3-14-3。

式典では、峯崎本部長が「弊社は3月で創業100周年を迎える。これまで以上に職員、協力業者が丸となり、皆さんの役に立てるよう努力を積み重ねる」と語り、辻勝日工社長が「規模が大きいただけでなく、見た目でもサテライト工場のイメージが一新された。品質はもとより、環境にも考慮された持続可能な模範解答のような設備の刷新となった。業界をリードする前田道路の動きにメーカーとして伴走できるように精進し、開発に努める」と述べた。亀井所長は「都心に一番近い販売所として稀有な存在となる。新たな100年の礎として、一所懸命に職員、協力会社とともに地域社会に貢献できる販売所として会社の模範になれるよう、精進する」と決意を表した。

